

## 4. 活動報告

### 4.1 八都県市首都直下地震対策研究協議会

首都直下地震による被害軽減を目的として、八都県市の行政職員と首都直下地震防災・減災プロジェクトの研究担当者が「協働」で、地域の防災力の向上を図るための研究会として「八都県市首都直下地震対策研究協議会」を設立し、原則毎月1回定例研究会を開催した。

#### 4.1.1 第13回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.1.1 開催日時：平成21年4月17日（金）13:30～16:30

4.1.1.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.1.3 議事次第・発表者

～効果的な防災担当職員研修を目指して～

①特定非営利活動法人環境・災害対策研究所・主任研究員 元谷 豊

「マネジメントの視点から」

②名古屋大学災害対策室・助教 木村玲欧

「効果評価の視点から」

#### 4.1.2 第14回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.2.1 開催日時：平成21年5月15日（金）13:30～16:30

4.1.2.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.2.3 議事次第・発表者

①(株)インターリスク総研事業企画部・主任研究員 堀江 啓

「非木造建物を対象とした外観目視調査のための標準的な被害測定方法の開発」

②奈良女子大学大学院人間文化研究科・教授 野田 隆

「統合コマンドの可能性」

#### 4.1.3 第15回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.3.1 開催日時：平成21年6月19日（金）13:30～16:30

4.1.3.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.3.3 議事次第・発表者

①千葉県消防地震防災課 浅尾一己

「千葉県の地震被害想定調査結果について」

②千葉大学大学院工学研究科・准教授 丸山喜久

「近年の地震データを考慮したマクロな配水管被害予測式」

③筑波大学大学院システム情報工学研究科・准教授 庄司 学

「ライフライン事業主体の応急復旧シナリオとその相互関連」

④鹿島技術研究所・上席研究員 永田 茂

「最近の被害地震におけるライフライン機能支障と企業影響の関係に関する調査結果」

#### 4.1.4 第16回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.4.1 開催日時：平成21年9月18日（金）13:30～16:30

4.1.4.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

##### 4.1.4.3 議事次第・発表者

①京都大学防災研究所・研究員 吉富 望

「柏崎市におけるり災証明書発行 GIS システムの開発及び被災者台帳の構築」

②京大大学生存基盤研究ユニット・助教 浦川 豪

「災害対策本部での状況認識の統一の有効性と効果的な情報処理の仕掛け」

③横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター・特任教員 古屋貴司

「応急仮設住宅の入居希望と配置・配分結果に関する空間的適合性」

#### 4.1.5 第17回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.5.1 開催日時：平成21年10月16日（金）13:30～16:30

4.1.5.2 開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

##### 4.1.5.3 議事次第・発表者

①(独)防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 井上貴仁

「E-ディフェンスの概要と地震災害の軽減を目指した利活用」

②文部科学省研究開発局地震・防災研究課 富田浩之

「地震時の適切な退避行動の選択に向けて

-地震防災研究を踏まえた退避行動等に関する作業部会での検討状況-

#### 4.1.6 第18回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.6.1 開催日時：平成21年11月20日（金）13:30～16:30

4.1.6.2 開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

##### 4.1.6.3 議事次第・発表者

①人と防災未来センター・主任研究員 紅谷昇平

「震災による家計・経済の被害と復興」

②京都大学防災研究所・准教授 牧 紀男

「首都直下地震後の住宅再建シミュレーションへ向けての試み」

#### 4.1.7 第19回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.7.1 開催日時：平成21年12月18日（金）13:30～16:30

4.1.7.2 開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

##### 4.1.7.3 議事次第・発表者

タイトル：同時多発火災と救急搬送を主なテーマとした首都直下地震時における  
情報連携デモ実験

司会進行：秦 康範（山梨大学大学院医学工学総合研究部・助教）

デモ参加者（代表者のみ）：

目黒公郎（京大大学生産技術研究所・教授）

座間信作（消防庁消防研究センター・上席研究官）

小林啓二（宇宙航空研究開発機構・研究員）  
鈴木猛康（山梨大学大学院医学工学総合研究部・教授）  
野田五十樹（産業技術総合研究所・主任研究員）  
竹内郁雄（東京大学大学院情報理工学系研究科・教授）

#### 4.1.8 第20回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.8.1 開催日時：平成22年3月19日（金）13:30～16:30

4.1.8.2 開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

##### 4.1.8.3 議事次第・発表者

- ①京都大学防災研究所・客員教授 武田文男  
「首都直下地震防災対策の特殊性」
- ②首都大学東京大学院都市科学研究科・教授 中林一樹  
「首都直下地震対策特別措置法（私案）について」
- ③大分大学教育福祉科学部・准教授 山崎栄一  
「首都直下地震防災対策」を実現するための法体制」

## 4.2 全体ワークショップ

### 4.2.1 第5回ワークショップ（以下のプログラムのとおり）

#### 首都圏巡検企画

## 「水辺から東京を診る」追加募集のご案内，及び，確定版

\*\*\*\*\*

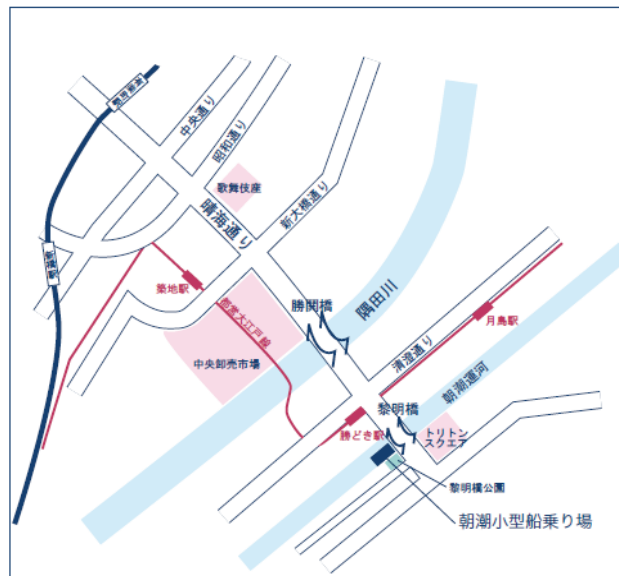
### 7月27日（月） 東京湾＋荒川＋隅田川下流域

\*\*\*\*\*

#### 第一部：視察会

- 7月27日（月）11：55 朝潮小型船乗り場，集合 12：00乗船開始，12時10分出航  
（大江戸線勝どき橋徒歩5分，晴海グランドホテルの近い場所，東京駅より30分弱）
- 視察行程：
  - 12時～17時：東京湾＋荒川視察  
豊洲～荒川～新砂防災船着場～荒川ロックゲート～小松川スーパー堤防～有明
  - 発着：朝潮小型乗船場（勝どき駅）
- 定員：定員 55名
- 申し込み：大橋由季（京都大学） ○ 問い合わせ：加藤孝明（東京大学）
- 集合場所

#### 朝潮小型船乗り場



●住所：東京都中央区晴海3-1

#### ●電車をご利用の方

- ・地下鉄 大江戸線「勝どき」駅 出口A3 徒歩5～7分  
晴海通りを晴海方向へ行き、黎明橋を渡り、すぐ右へ入る。
- ・JR線「有楽町」駅・地下鉄「銀座」「東銀座」駅よりタクシー10分  
晴海通りを晴海方向へ行き、黎明橋を渡り、すぐの信号を右へ入り下車。  
信号を渡り公園横を右に入った所。



#### 4.2.2 第6回ワークショップ（以下のプログラムのとおり）

### 平成22年3月29日(月) 広域的危機管理・減災体制の構築研究チームご一行 視察行程

#### ご視察スケジュール

- 13:00 横浜第二合同庁舎1階ロビー 集合
- 13:05 横浜第二合同庁舎 発（マイクロバス）
- 13:35 川崎港東扇島基幹的広域防災拠点 着  
13:40 防災拠点概況説明  
(対応者:首都圏臨海防災センター職員)
- 14:30 川崎港東扇島基幹的広域防災拠点 発
- 15:00 羽田空港D滑走路展望台 着  
I工区棧橋部へ移動 現地視察  
(対応者:東京空港整備事務所職員)
- 16:10 羽田空港D滑走路展望台 発
- 16:50 国営東京臨海広域防災公園 着  
(解散)

#### ご視察ルート



文部科学省 「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」  
 サブプロジェクト③「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」  
 平成21年度 第6回全体WSプログラム

2010年3月30日(火) 10時～17時 於：ホテルルポール麹町 マーブル

- 9:30 開場
- 10:00～10:10 挨拶 京都大学 林 春男  
 東京都総務局総合防災部防災対策課 米川直之
- 10:10～11:10 【山崎チーム報告】  
 ライフライン災害時の自律性を確保する拠点区域の構築  
 横浜国立大学 佐土原 聡  
 首都圏における統合的ライフライン被害シミュレーションに向けて  
 千葉大学 丸山喜久
- 11:20～12:20 【目黒チーム報告】  
 広域的情報共有と応援体制の確立チームの研究進捗と展望  
 東京大学 目黒公郎
- 12:20～13:30 昼食
- 13:30～14:30 【重川チーム報告】  
 災害時における行政組織間連携  
 富士常葉大学 重川希志依  
 地震時の住宅再建に関わる保険業界の業務分析  
 (株)インターリスク総研 堀江 啓  
 災害時における被災自治体財政  
 富士常葉大学 高島正典
- 14:40～15:40 【中林チーム報告】  
 事前復興対策の構造と意義－東京都および区部を事例に－  
 首都大学東京 中林一樹  
 震災復興訓練手法の開発と効果－都市復興図上訓練と  
 震災復興まちづくり訓練－ 首都大学東京 市古太郎
- 15:50～16:50 【林チーム報告】  
 取り残しのない被災者生活再建支援の実現とそれに関わる  
 業務量の可視化 新潟大学 井ノ口宗成  
 最新の観測データと過去の地震記録に基づく首都直下地震像の再検討  
 静岡大学 林 能成
- 16:50～17:00 挨拶 文部科学省 防災科学技術推進室長 南山力生  
 総括 京都大学 林 春男

(敬称略)

#### 4.3 成果発表会

##### 4.3.1 第2回成果発表会（下記のプログラムのとおり）

### ここまで分かった首都直下地震がもたらす問題の全体像

文部科学省 「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」  
サブプロジェクト③「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」  
研究成果発表会

2010年2月26日 10時～17時  
帝国ホテル東京 本館4階 桜の間

9:30 開場  
10:00～10:10 開会挨拶（文部科学省研究開発局 地震・防災研究課長 鈴木良典）  
10:10～11:00 首都直下地震がもたらす問題の全体像の解明  
（京都大学防災研究所 教授 林 春男）

#### 首都圏直下地震が引き起こす応急対応の新しい課題

11:10～11:30 帰宅困難者（（株）サイエンスクラフト 防災部主任 元谷 豊）  
11:30～11:50 災害時要援護者（同志社大学社会学部 教授 立木茂雄）

#### 昼食

#### 経済再建の課題

13:00～13:20 経済の再建（人と防災未来センター 研究副主幹 永松伸吾）  
13:20～13:40 企業の再建（新潟大学危機管理室/災害復興科学センター兼務 教授 田村圭子）

#### 生活再建の課題

13:50～14:10 地域の再建（富士常葉大学大学院環境防災研究科 准教授 田中 聡）  
14:10～14:30 すまいの再建（京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男）

#### 社会基盤の再建

14:40～15:00 社会基盤の再建（鹿島建設（株）技術研究所 上席研究員 永田 茂）  
15:00～15:20 都市の再建（人と防災未来センター 研究主幹 越山健治）  
15:20～15:40 再建のための空地マネジメント  
（横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター 講師 古屋貴司）

#### 首都直下地震がもたらす問題全体像 ー残された課題ー

15:50～17:00 コーディネーター：林春男、パネリスト：発表者全員



#### 4.4 対外発表

##### 4.4.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
首都直下地震における問題構造解明のためのTOC論理思考プロセスの適用	程 潔, 重川希志依, 目黒公郎, 山崎文雄, 中林一樹, 林春男, 田村圭子	地域安全学会論文集, No.11	2009年11月	国内
Pre-Disaster Recovery from Tokyo Inland Earthquake by TMG (Keynote Speech)	Itsuki NAKABA-YASHI (中林一樹)	“Kobe, Chi-Chi, Chuetsu, Wenchuan” International Earthquake Recovery Conference	2009.9	国際
東京都特別区における都市復興初動期の行政職員リソースに関する考察(口頭発表)	市古太郎	日本建築学会大会	2009年9月	国内
巨大地震発生後の空地利用に関する課題の検討(ポスター発表)	照本清峰・中林一樹	日本災害復興学会2009長岡大会	2009年10月	国内
首都直下地震からの復興の危機と事前復興対策—東京の戦略的取り組み—(口頭発表)	中林一樹	自治体危機管理学会大会	2009年11月	国内
『地域協働復興』論の意義: 第2トリガー論(口頭発表)	市古太郎	自治体危機管理学会大会	2009年11月	国内
災害復興まちづくり支援機構の活動と意義(口頭発表)	佐藤隆雄	日本建築学会叢書「大震災に備える」セミナーin東京	2010年1月25日	国内
まちづくりの視点からみたゼロ年代の事前復興まちづくり—練馬区でのケースレビュー—(口頭発表)	市古太郎	日本建築学会叢書「大震災に備える」セミナーin東京	2010年1月25日	国内
震災復興まちづくり訓練が参加者のまちづくり意識に与える効果に関する研究(ポスター発表)	池田浩敬	地域安全学会	2009年6月	国内
自治体の危機管理	中林一樹	都市問題研究 第61巻第5号・通巻701号、pp.18-32	2009年5月	国内
Outcome-Sequence チャートを用いた事前復興対策としての東京都市復興図上訓練の考察	市古太郎・中林一樹	日本都市計画学会学術研究論文集 No.44-3、pp.289-294.	2009年11月	国内
自治体BCP—災害時にどこまで出来るか—	中林一樹	月刊・自治フォーラム、通巻601号、pp.12-21	2009年12月	国内
これまでの災害復興の考え方と人口減少時代の巨大災	中林一樹	自治体危機管理学会「自治体危機管理研	2010年3月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
害からの復興		究」第5号pp.33-43		
加藤孝明:復興状況イメージトレーニング(復興イメトレ)の標準手法と今後の課題	加藤孝明	日本自治体危機管理学会総会・研究大会予稿集	2009年10月	国内
巨大災害の「数」に備える	加藤孝明	日本建築学会大会研究懇談会	2009年8月	国内
首都直下地震における復興課題と復興状況イメージトレーニングの要性	加藤孝明・中村仁	日本災害復興論文集, No.1	2010年3月	国内
埼玉県における復興状況イメージトレーニング	加藤孝明	建築学会叢書・大震災に備える建築とまちづくりシリーズ第2巻「復興まちづくり」, 日本建築学会編	2009年12月	国内
復興状況イメージトレーニング(復興イメトレ)の標準手法と今後の課題	加藤孝明	自治体危機管理研究, Vol.4	2009年12月	国内
科学番組「Wie Wissen」東京の震災対策をテーマとする番組の中で復興課題についてコメントした。	加藤孝明	ドイツ公共放送機構ARD/SWR(南西ドイツ放送)	2010年2月	国際
都市型地震災害における空地利用の課題・口頭	照本清峰	明治大学(日本自治体危機管理学会2009年度研究大会)	2009年11月	国内
地震被害による阪神被災地域の住宅ストックの変化(1990-2005年)・口頭	越山健治	台湾(“神戸・集集・中越・文川”国際地震復興会議)	2009年10月	国際
The transformation of urban housing environment in the post Hanshin-Awaji Earthquake	越山健治	神戸学院大学(都市安全の高度化に関する国際シンポジウム)	2010年3月	国際
住宅ストック及び収入フローの被害に基づく家計復興の評価手法・ポスター発表	紅谷昇平	長岡技術科学大学(日本災害復興学会2009年度学会大会)	2009年10月	国内
都市型地震災害における空地利用の課題	照本清峰	自治体危機管理学研究, Vol.4, pp.145-153	2010年2月	国内
復興シナリオの構築に関する考察:復興過程にある被災住民・自治体への調査を通じて	佐々木一如	日本自治体危機管理学会2009年度研究大会	2009年10月10日	国内
復興シナリオの構築に関する考察:復興過程にある被災住民・自治体への調査を通じて	佐々木一如	『自治体危機管理研究第4号』	2009年12月7日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
復興シナリオの構築に関する考察：復興過程にある被災住民・自治体への調査を通じて	佐々木一如	『日本自治体危機管理学会 2009 年度総会・研究大会予行集』	2009年10月10日	国内
すまいの再建シミュレーション（口頭）	牧 紀男	浦安市民プラザ（日本自治体危機管理学会）	2009年10月10日	国内
災害対策基本法の総合性、計画性と巨大災害への対処—21世紀前半の巨大時代を踏まえた災害対策のあり方—	牧 紀男	地域安全学会論文集、No. 12（電子ジャーナル論文）、No. 8	2010年3月	国内
Editorial: Special Issue on “Effective Emergency Management: A Geographic Approach”	Haruo Hayashi and Go Urakawa,	JDR Vol.5 No.1, pp. 3-4	2010.2	国内
2007 Emergency Mapping Center Constructing Common Operational Pictures with GIS	Keiko Tamura, Go Urakawa, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 5-11	2010.2	国内
Realization of Effective Disaster Victim Support Through Development of Victim Master Database with Geo-Reference - A Case Study of 2007 Niigataken Chuetsu-Oki Earthquake -	Munenari Inoguchi, Keiko Tamura, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 12-21	2010.2	国内
Realization of Local Capacity Building for Managing Instructional-System-Design-Based GIS - A Case Study of Wajima City at 2007 Noto Hanto Earthquake -	Yoshihiro Ura, Munenari Inoguchi, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 22-30	2010.2	国内
Design Principles for Visualization of Public Information for Effective Disaster Reduction	Kenshin Urabe, Haruo Hayashi, Satoshi Inoue, Haruhide Yoshida, and Toshihiro Shimosakai	JDR Vol.5 No.1, pp. 31-44	2010.2	国内
Spatial Exposure Analysis on Tokyo Metropolitan Earthquake Disaster	Shingo Suzuki and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 45-53	2010.2	国内
Mobile GIS Application Development for Emergency Damage Assessment in a Disaster	Norihiro Tonosaki, Go Urakawa, Kei Omura, Yuji Nawa, Ryota Hamamoto, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 54-65	2010.2	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
QR Coded Field Data Acquisition	Mitsuhiro Higashida, Yasushi Matsushita, Haruo Hayashi, Kouichi Miyake, Masayuki Morikawa, and Nozomu Yoshitomi	JDR Vol.5 No.1, pp. 66-73	2010.2	国内
Disaster-Victim Database Development Using GeoWrap Method - From the 2004 Niigata Chuetsu Earthquake to the 2007 Niigataken Chuetsu-Oki Earthquake -	Nozomu Yoshitomi, Haruo Hayashi, Katsuyuki Matsuoka, Hidenori Terano, Munenari Inoguchi, and Go Urakawa	JDR Vol.5 No.1, pp. 74-81	2010.2	国内
GIS-Based Damage Certification Support System Based on Recent Earthquake Experience	Katsuyuki Matsuoka, Haruo Hayashi, Nozomu Yoshitomi, Go Urakawa, Ryota Hamamoto, Yuji Nawa, Hidenori Terano, and Norihiro Tonosaki	JDR Vol.5 No.1, pp. 82-89	2010.2	国内
Inexpensive Integrated GIS for Local Government to Implement Emergency Response and Management Effectively	Go Urakawa and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 90-97	2010.2	国内
Building Local-Government Service-Oriented GIS Through 2007 Chuetsu-Oki Earthquake Experience	Tsutomu Honma, Go Urakawa, Munenari Inoguchi, Norihiro Tonosaki, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 98-107	2010.2	国内
Geography Network for Sharing Geospatial Information in Disaster Management	Yuji Nawa, Go Urakawa, Hiro Ikemi, Ryota Hamamoto, and Haruo Hayashi	JDR Vol.5 No.1, pp. 108-116	2010.2	国内
被災者への社会調査による復興測定指標の開発（口頭）（招待講演）	木村玲欧	中国地震局「人文社会科学者の地震災害研究 日本専門家報告会」	2009年11月	国際
The Development of Reconstructing Measurements Based on the	KIMURA, R.	International Conference of Reconstructing	2009.11	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Social Survey of the Victims (口頭) (招待講演)		Family, Enterprise and Society: Theory and Practice of Post-Disaster Reconstruction (中国科学技术部中国科学技术發展戦略研究院)		
Proposal for Effective Emergency Training and Exercise Program to Improve Competence for Disaster Response of Disaster Responders	TAKEMOTO, K., MOTOYA, Y. and KIMURA, R.	Journal of Disaster Research	2010.5 (印刷中)	国内
Development of the Method of Clarifying the Life Reconstruction Process Based on the Random Sampled Social Surveys of the Victims -Recovery and Reconstruction Calendar	KIMURA, R., HAYASHI, H. and TAMURA, K.	17th Annual Conference of TIEMS (The International Emergency Management Society) Proceedings	2010.6 (印刷中)	国際
「高齢化社会と防災」報告への指定討論 (口頭)	立木茂雄	自治体危機管理学会	2009年10月10日	国内
People with Special Needs and Disasters: Person-in-Environment Model GIS Mapping and Multi-Stakeholder Collaborations (口頭)	Shigeo Tatsuki	1 <sup>st</sup> International Conference on Policy & Research for Global Disaster Management, Seoul, Korea	November 12, 2009	国際
情報が鍵を握る自主防災組織の育成 (口頭)	立木茂雄	災害情報学会10周年記念シンポジウム	2009年11月27日	国内
阪神・淡路大震災の神戸市内におけるアンケート震度および社会的脆弱性が建物被害や直接死者数の及ぼす影響に関する確認的研究	松本亜沙香・立木茂雄	地域安全学会論文集, No. 11, pp. 89-96	2009年11月	国内
1935年静岡地震断層モデルの再検討 (口頭)	林能成	歴史地震研究会第26回大会 (大津市・明日都浜大津)	2009年9月12日	国内
2009年8月11日駿河湾の地震における揺れと被害の特徴～しずおか防災コンソーシアム・アンケート調査からわかったこと～ (口頭)	林能成	しずおか防災地域連携第24回土曜セミナー (静岡市・静岡地震防災センター)	2010年2月13日	国内
空間を用いた被災者の生活再建過程の可視化 -2007年新潟中越沖地震における柏崎市を事例として-, ポスター発表	井ノ口 宗成, 田村 圭子, 林 春男, 吉富 望, 浦川 豪	第5回 GISコミュニティフォーラム	2009年6月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
How can we support all of victims' life recovery process effectively with GIS? - A Case Study of Kashiwazaki City at 2007 Niigata Chuetsu-oki Earthquake -, 口頭発表	Munenari Inoguchi	29th ESRI International User Conference	2009.7	国際
災害発生後の被災者支援における情報システムの活躍の可能性, 招待講演(口頭)	井ノ口 宗成, 田村 圭子, 林 春男	2010年電子情報通信学会総合大会	2010年3月	国内
災害時要援護者の避難支援ー地域レベルにおける推進に向けた政策法務ー	山崎栄一、立木茂雄、林春男、田村圭子	地域安全学会論文集 No.11 51~60頁	2009年11月	国内
位置情報に基づく災害対応業務を効果的に遂行するための標準的な情報処理手法の確立	浦川豪、林春男	地域安全学会論文報告集, No.11	2009年11月	国内
合理的な被災者生活再建支援を実現するための生活再建過程の空間的可視化	井ノ口宗成, 田村圭子, 林春男	地理情報システム学会講演論文集 Vol.18	2009年10月	国内
災害対応で得られた教訓と知識の体系的な継承手法の開発	小松原康弘, 林春男, 田村圭子, 井ノ口宗成	地域安全学会論文集 No.11	2009年11月	国内
Realization of Effective Disaster Victim Support through Information Integration and Visualization Using GIS	Munenari Inoguchi, Keiko Tamura, Shigeo Tatsuki, Haruo Hayashi	Third International Conference on Health Informatics	2010.1	国際
生活再建支援台帳システムの効果的運用を目指した被災者確定業務の効率化手法	井ノ口宗成, 田村圭子, 林春男	地域安全学会論文集 No.12	2010年3月	国内
情報共有プラットフォームの導入を前提とした場合の災害対応に従事する組織と情報処理方法のあるべき姿に関する一考察(口頭)	近藤伸也、目黒公郎、蛭間芳樹	土木学会第64回年次学術講演会	2009年9月	国内
緊急地震速報を用いた長周期地震動の推定(口頭)	座間信作	日本建築学会学術講演会	2009年9月	国内
緊急地震速報を用いた石油タンクのスロッシングによる溢流量予測の可能性(口頭)	座間信作、西晴樹、山田實、廣川幹浩、遠藤真、目黒公郎	第24回地域安全学会大会(春季)	2009年6月	国内
長周期地震動研究のレビューと課題	座間信作	地盤振動シンポジウム	2009年11月	国内
地域の自主防災力が置かれている現状と課題ー政令指定都市等の大都市における実態調査を元に(口頭)	岡部弘志、関澤愛、清水智乗、杉井完治	日本火災学会研究発表会	2009年5月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
東京 23 区における自主防災組織に期待される役割と現状について（口頭）	清水智乗、関澤愛、岡部弘志、杉井完治	日本火災学会研究発表会	2009年5月	国内
延焼と消防力運用のシミュレーション予測による市街地の地震火災リスク評価（口頭）	関澤愛、佐々木克憲、山瀬敏郎、座間信作、遠藤真、岡部弘志	日本火災学会研究発表会	2009年5月	国内
震災時における消防部隊の初期出場方式の違いによる延焼抑制効果の比較分析（口頭）	関澤愛、佐々木克憲、杉井完治、山瀬敏郎、座間信作、遠藤真	第25回地域安全学会大会（秋季）	2009年11月	国内
自主防災組織に期待される役割と現状 東京 23 区の防災主管課に対するヒアリング調査結果の考察（口頭）	清水智乗、関澤愛、大岩大祐、杉井完治	第25回地域安全学会大会（秋季）	2009年11月	国内
横風中の火災風下に発生する旋風の一発生形態（口頭）	篠原雅彦、松島早苗	日本火災学会研究発表会	2009年5月	国内
横風を受ける火災後流に発生する竜巻状の渦の発生形態（口頭）	篠原雅彦、松島早苗	第46回日本伝熱シンポジウム	2009年6月	国内
Real-time prediction of liquid sloshing of oil storage tank based on earthquake early warning	S. Zama , H. Nishi and M. Yamada	Proceedings of Pressure Vessels and Piping Division conference	2009.7	国際
長周期地震動	座間信作	地震、61巻特集号	2009年4月	国内
地震時の石油タンク溢流量推定システム	西晴樹、山田實、座間信作、廣川幹浩	安全工学、Vol.48, No.3	2009年6月	国内
災害対応を支援する情報システムのユーザビリティ向上とその評価（口頭）	鈴木猛康	第30回土木学会地震工学研究発表会報告集	2009年5月	国内
AHP手法を適用した災害情報システムの定量的評価の試み（口頭）	鈴木猛康	第24回地域安全学会大会（春季）、	2009年6月	国内
市町村の災害対応管理システムに関するユーザビリティ向上のための改善と評価	鈴木猛康	地震工学論文集、No.30	2010年2月	国内
統合シミュレーションと防災	野田五十樹	ロボット情報学ハンドブック(ナノオプトニクス・エナジー出版局)	2010年3月	国内
Multi-Agent Social Simulation	Itsuki Noda, Peter Stone, Tomohisa Yamashita, Koichi Kurumatani	Handbook of Ambient Intelligence and Smart Environments	2009.12	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Characteristics of Shadow and Removal of Its Effects for Remote Sensing Imagery	F. Yamazaki, W. Liu, M. Takasaki	Proceedings of the IEEE 2009 International Geoscience and Remote Sensing Symposium	2009.7	国際
2007年新潟県中越沖地震における埋設管被害の空間特性（口頭発表）	君島康太, 丸山喜久, 山崎文雄	土木学会第64回年次学術講演会（福岡大学）	2009年9月	国内
千葉県における東京湾北部地震後の道路交通シミュレーションに向けた基礎検討（口頭発表）	丸山喜久, 胡内健一, 奥野潤, 山崎文雄	相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム	2009年12月	国内
新潟県中越沖地震におけるライフライン被害の空間相関性	君島康太, 丸山喜久, 山崎文雄	土木学会地震工学論文集, Vol. 30, pp. 614-621	2009年12月	国内
近年の地震被害データを加味したマクロな配水管被害予測式の改良	丸山喜久, 山崎文雄	土木学会地震工学論文集, Vol. 30, pp. 565-574	2009年12月	国内
ライフライン系の地震時同時被害に関する確率論的考察、講演概要集	安藤騰志・能島暢呂	金沢工業大学（土木学会中部支部平成21年度研究発表会）	2010年3月	国内
隣接ライフラインの地震時同時被害に関する確率論的評価モデル	能島暢呂	地域安全学会論文集 No.11	2009年11月	国内
下水道システムの地震時応急復旧シナリオに関する一考察	豊田安由美、庄司学	日本地震工学会大会—2009梗概集	2009年11月	国内
ライフライン事業者が想定する地震時応急復旧シナリオ及びその相互連関のモデル化の試み—首都直下地震を想定した場合の事例分析—	豊田安由美、庄司学	地域安全学会論文集 No.12	2010年3月	国内
Modeling of Restoration Process associated with Critical Infrastructures and the Interdependency due to a Seismic Disaster	Shoji, G. and Toyota, A.	JOINT CONFERENCE PROCEEDINGS 7th International Conference on Urban Earthquake Engineering (7CUEE) & 5th International Conference on Earthquake Engineering (5ICEE)	2010.3	国際
ライフライン災害時の自律性を確保する拠点区域選定のための地域分類手法の検	稲垣景子、佐土原聡	土木学会地震工学委員会（相互連関を考慮したライフライン減	2009年12月	国内



発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
討 ー 横浜市の公共的施設を対象としてー		災対策に関するシンポジウム論文集, pp. 20-25)		
首都圏におけるCGS導入を契機とした地域分散型エネルギーシステムの導入可能性と効果の評価に関する研究	張瑤、元アンナ、吉田聡、佐土原聡	日本建築学会大会 (学術講演梗概集 D-1, pp. 751-752)	2009年8月	国内
建物間エネルギー融通の簡易モデルでのシミュレーション開発 ー 既成市街地における建物間エネルギー融通に関する研究 その4ー	吉田聡、伊藤駿平、佐土原聡、椿高範、市川徹	日本建築学会大会 (学術講演梗概集 D-1, pp. 777-778)	2009年8月	国内
長期的な視点での建物間エネルギー融通システムの導入効果要因分析 ー 既成市街地における建物間エネルギー融通に関する研究 その5ー	伊藤駿平、吉田聡、佐土原聡、椿高範、市川徹	日本建築学会大会 (学術講演梗概集 D-1, pp. 779-780)	2009年8月	国内
災害時の自律性を確保する拠点区域の構築に関する研究 ー 首都圏の庁舎建物を対象とした調査分析ー	稲垣景子、佐土原聡	日本建築学会大会 (学術講演梗概集 D-1, pp. 977-978)	2009年8月	国内
災害時の自律性を確保する拠点区域構築に関する検討	梅沢美幸、稲垣景子、佐土原聡	地域安全学会 (地域安全学会梗概集, No. 24, pp. 105-108)	2009年6月	国内
災害時の自律性を確保する拠点区域選定のための地域分類 ー 横浜市の公共的施設を対象とした調査分析ー	稲垣景子、佐土原聡	地域安全学会 (電子ジャーナル論文)	2010年3月	国内
最近の被害地震におけるライフライン機能支障と企業影響の関係に関する調査結果 (口頭発表)	永田 茂	八都県市首都直下地震対策研究協議会	2009年6月19日	国内
ここまで分かった首都直下地震がもたらす問題の全体像 社会基盤の再建	永田 茂	文部科学省「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」サブプロジェクト③「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」研究成果発表会	2010年2月26日	国内
近年の被害地震における企業・事業所の事業中断に関する実態調査	永田 茂	安全工学シンポジウム2009 (講演予稿集)	2009年7月10日	国内
近年の被害地震における企業・事業所の事業中断期間のモデル化	永田 茂他	安全工学シンポジウム2009 (講演予稿集)	2009年7月10日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
ライフラインの供給停止期間と企業・事業所の事業中断期間の関係について	永田 茂他	日本地震工学会大会 2009（梗概集）	2009年11月13日	国内

#### 4.4.2 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定等

##### 4.4.2.1 特許出願

・なし

##### 4.4.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
首都直下地震後のすまいの再建プロセス推定システム	首都直下地震後の住宅復興プロセスについて、多様な視点からシナリオを検討する際に利用するシミュレーション解析を行うためのソフトウェアシステム
減災情報共有データベース (DaRuMa) ver. 20100331	検索機能強化，接続機能強化
広域連携している自治体災害対策本部システム <b>Country Maam</b>	県庁等に置いたサーバの災害情報仮想大画面を各機関が共有できるようにするシステムのプロトタイプ

##### 4.4.2.3 仕様・標準等の策定

・なし